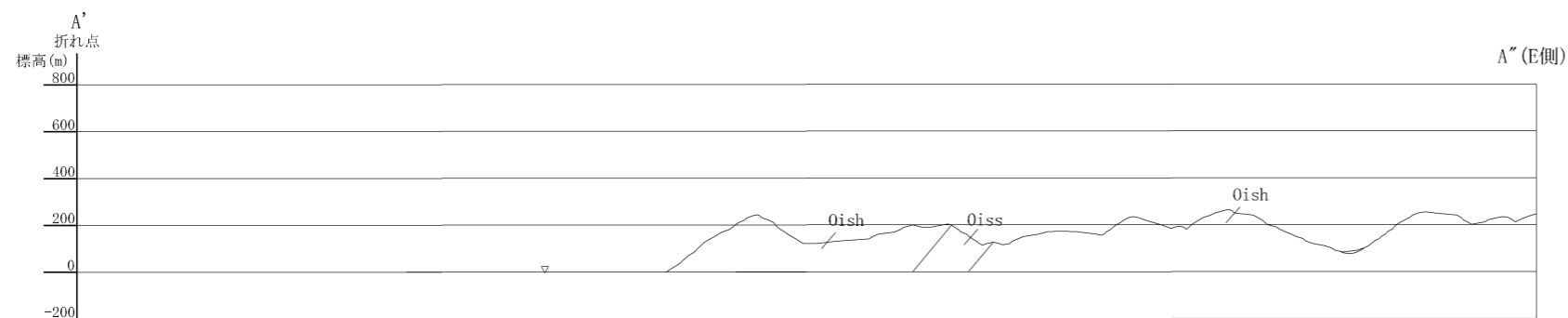
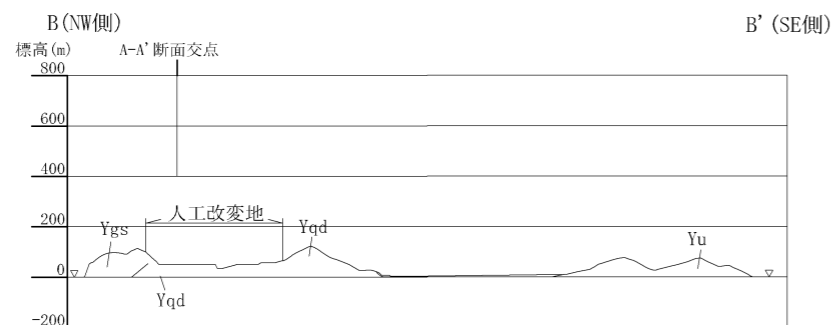


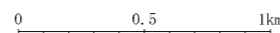
大飯 A-A' 断面



大飯A'-A''断面



大飯 B-B' 断面



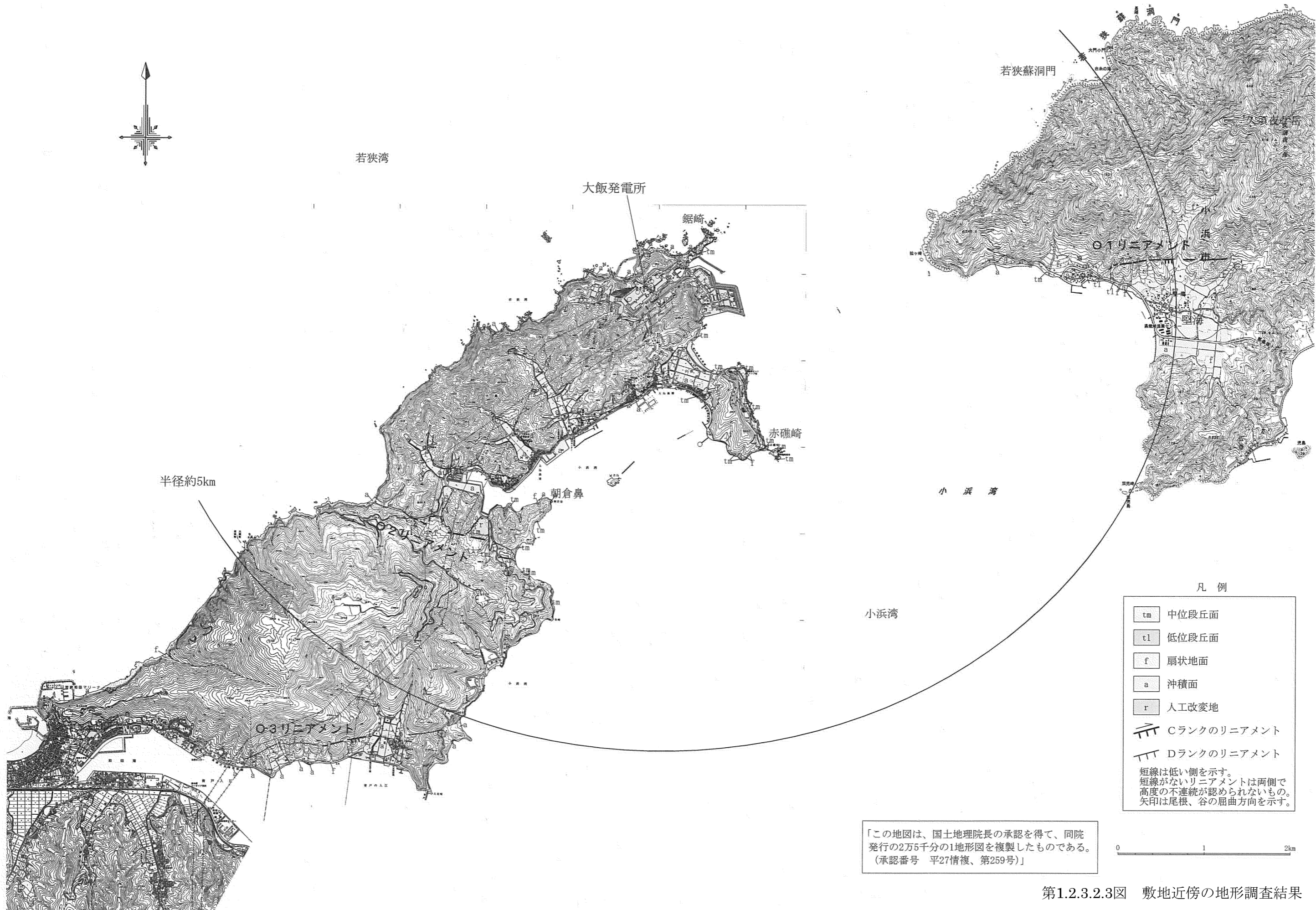
地質凡例

地質年代		記号	地層名等	主要構成地層	
新生代	第四紀	完新世	r	人工改変地	
			a	沖積層	礫、砂、シルト、粘土
		f	扇状地堆積物	礫、砂、シルト	
		更新世	tl	低位段丘堆積物	礫、砂、シルト
	tm		中位段丘堆積物	礫、砂、シルト	
中生代	古第三紀 白亜紀	Gr	蘇洞門花崗岩類	黒雲母花崗岩	
		ジュラ紀	Ss	周山コンプレックス (T1)	砂岩
	Sx		泥質混在岩及び頁岩		
	Sc		チャート		
	ペルム紀	Sg		緑色岩類	
		ペルム紀	Hkss	氷上層 (UT1コンプレックス)	砂岩
	Hksh		頁岩		
	Oiss		大飯層 (UT2コンプレックス)	砂岩	
	Oish			頁岩	
	古生代	ペルム紀	Oich		チャート
Ysh			夜久野オライト(大島層)	頁岩	
Yfs			夜久野オライト	珪長岩	
Yqd				細粒石英閃緑岩	
Ygs				緑色岩類	
Ymg				変斑れい岩	
Yu	超苦鉄質岩				

—— 地質境界  
—— 断層

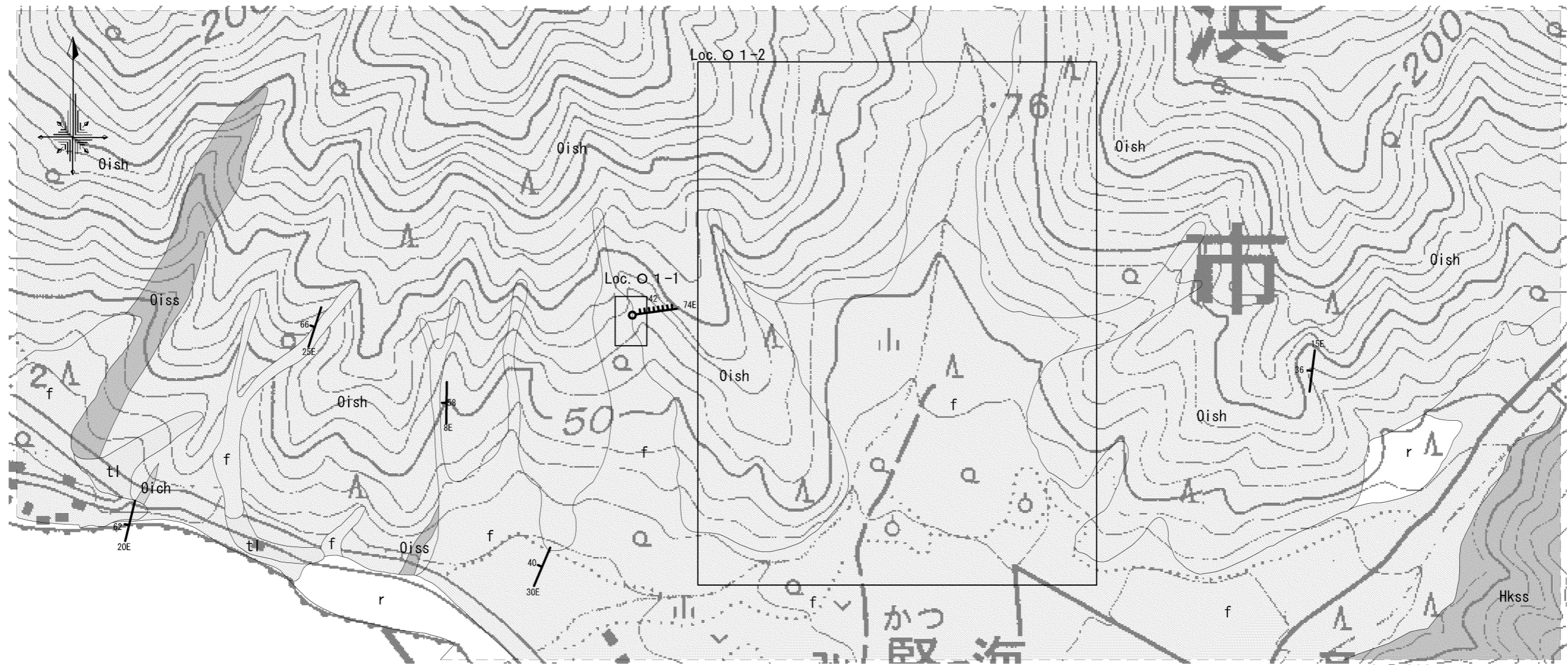
断面位置は第1.2.3.2.1図に示す。

第1.2.3.2.2図 敷地近傍の地質断面図



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。  
(承認番号 平27情複、第259号)」

第1.2.3.2.3図 敷地近傍の地形調査結果



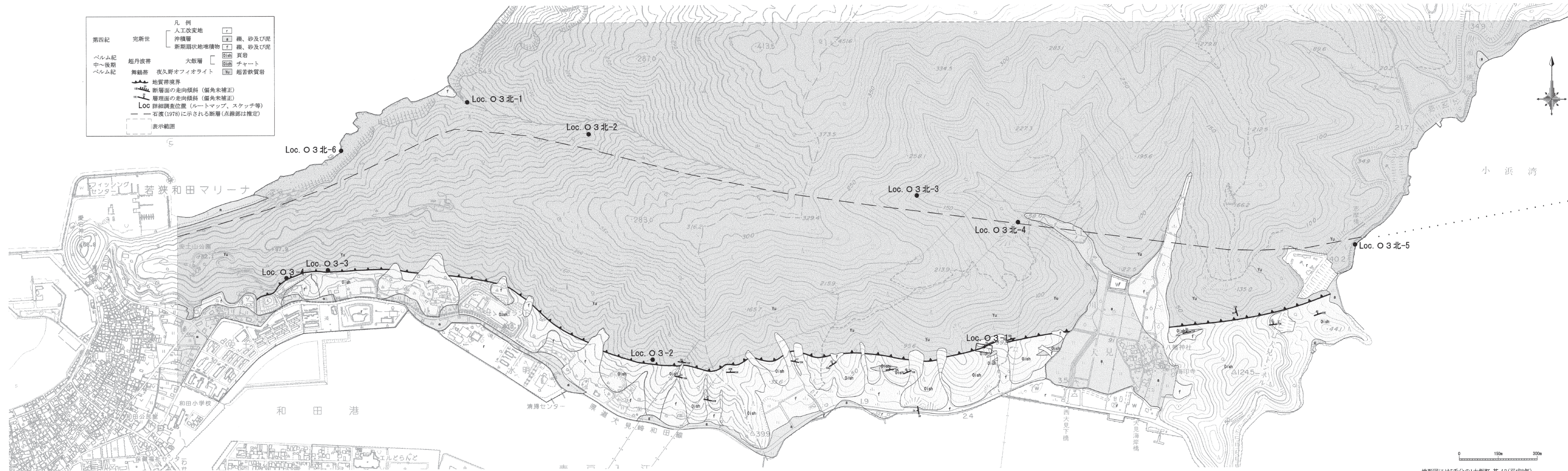
「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。  
(承認番号 平27情復、第259号)



凡例				
第四紀	完新世	人工改変地	r	
	更新世	新期扇状地堆積物	f	礫、砂及び泥
		低位段丘堆積物	t1	礫、砂及び泥
ペルム紀 中～後期	超丹波帯	氷上層	Hkss	砂岩
		大飯層	Q1ss	砂岩
			Q1sh	頁岩
			Q1ch	チャート
		断層面の走向傾斜 (偏角未補正)		
層理面の走向傾斜 (偏角未補正)				
Loc		詳細調査位置 (ルートマップ、スケッチ等)		
表示範囲				

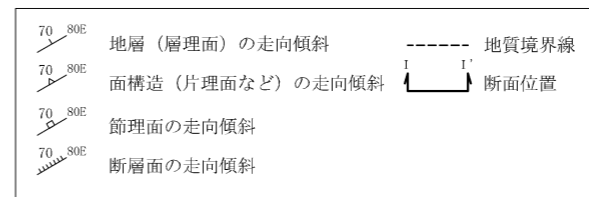
第1.2.3.2.4図 O1リニアメント周辺の地質図





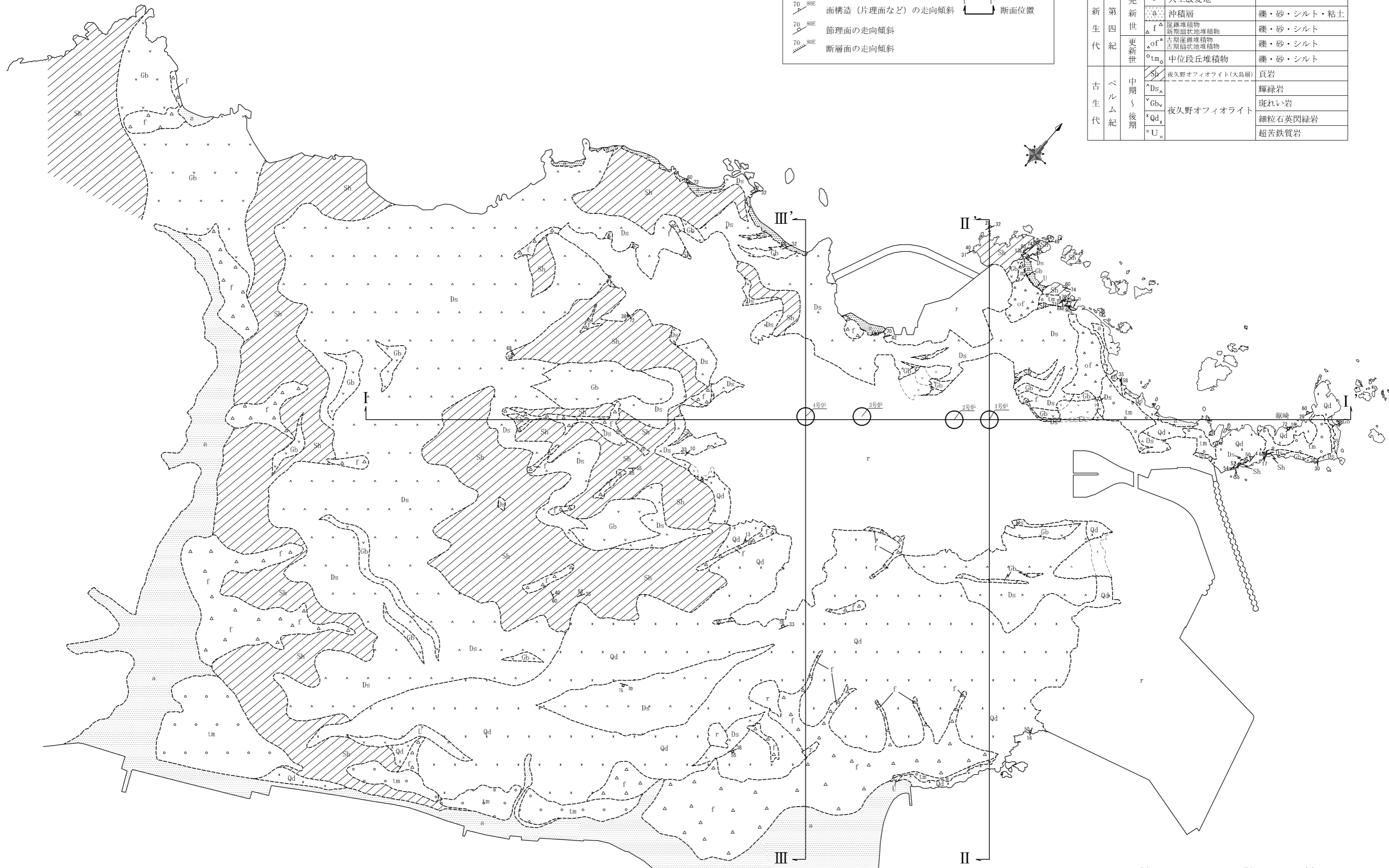
地形図には5千分の1大飯町 其ノ2(平成8年)及び1万分の1高浜町全図其1(平成14年)を使用  
 第1.2.3.2.6図 O3 リニアメント周辺の地質図

記号凡例

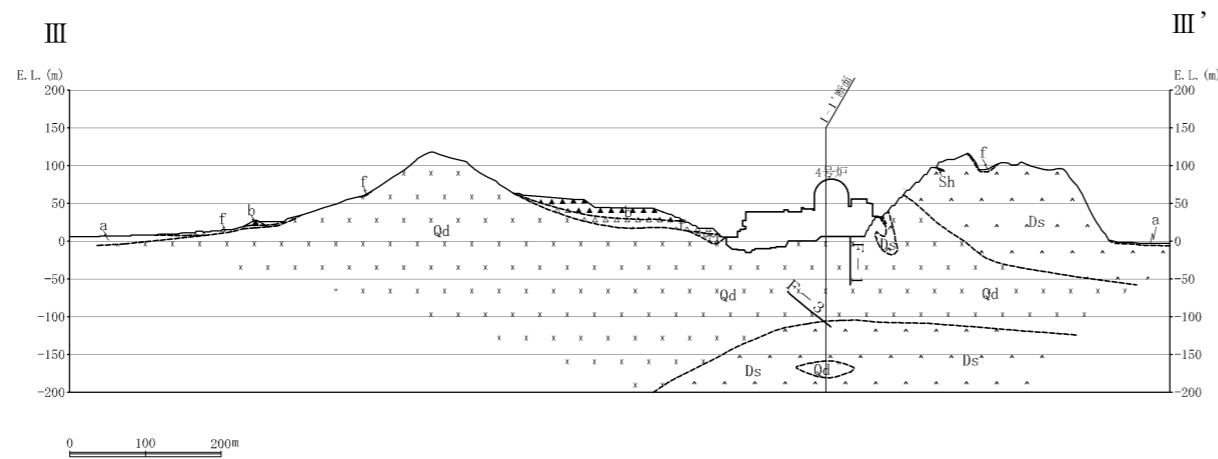
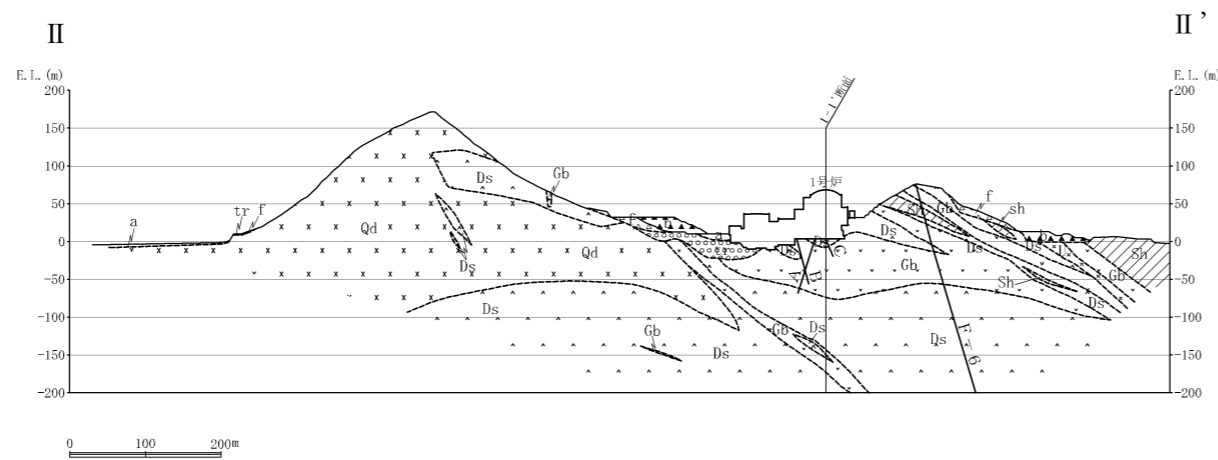
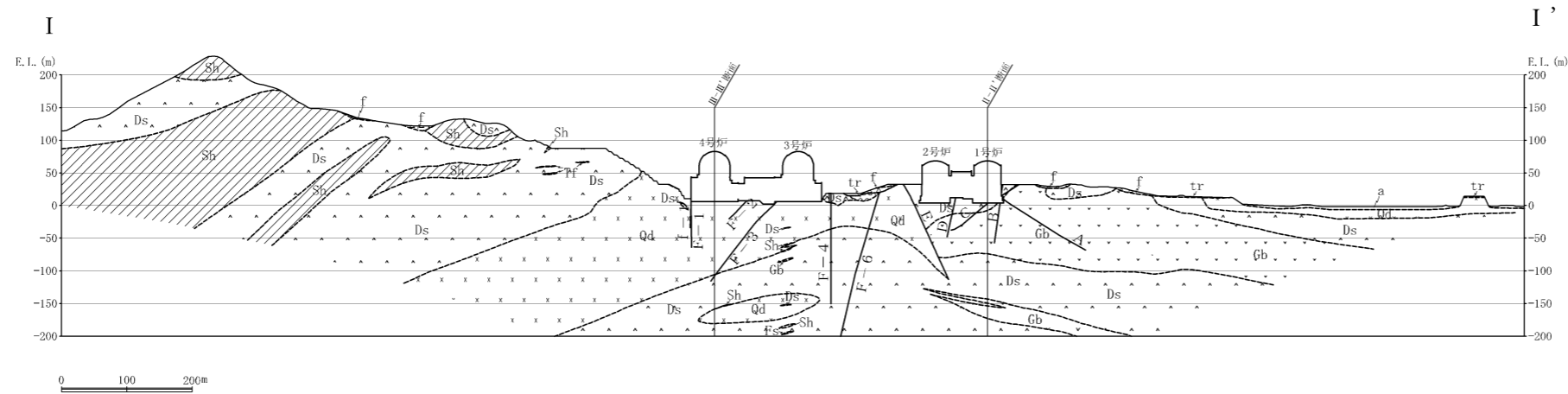


地質凡例

地質時代	記号	地質名等	主要構成地層	
新生代	第四紀	完新世	r 人工改変地	
		更新世	a 沖積層	礫・砂・シルト・粘土
	中新世	f	基層堆積物	礫・砂・シルト
		of	新期扇状地堆積物	礫・砂・シルト
		of	古期扇状地堆積物	礫・砂・シルト
古生代	ペルム紀	tm	中段丘堆積物	礫・砂・シルト
		Sh	夜久野オフィオライト(大島層)	頁岩
	中期後期	^Ds		輝緑岩
		vGb	夜久野オフィオライト	斑れい岩
		xQd		細粒石英閃緑岩
	xU		超苦鉄質岩	



第1.2.3.3.1図 敷地の地質図



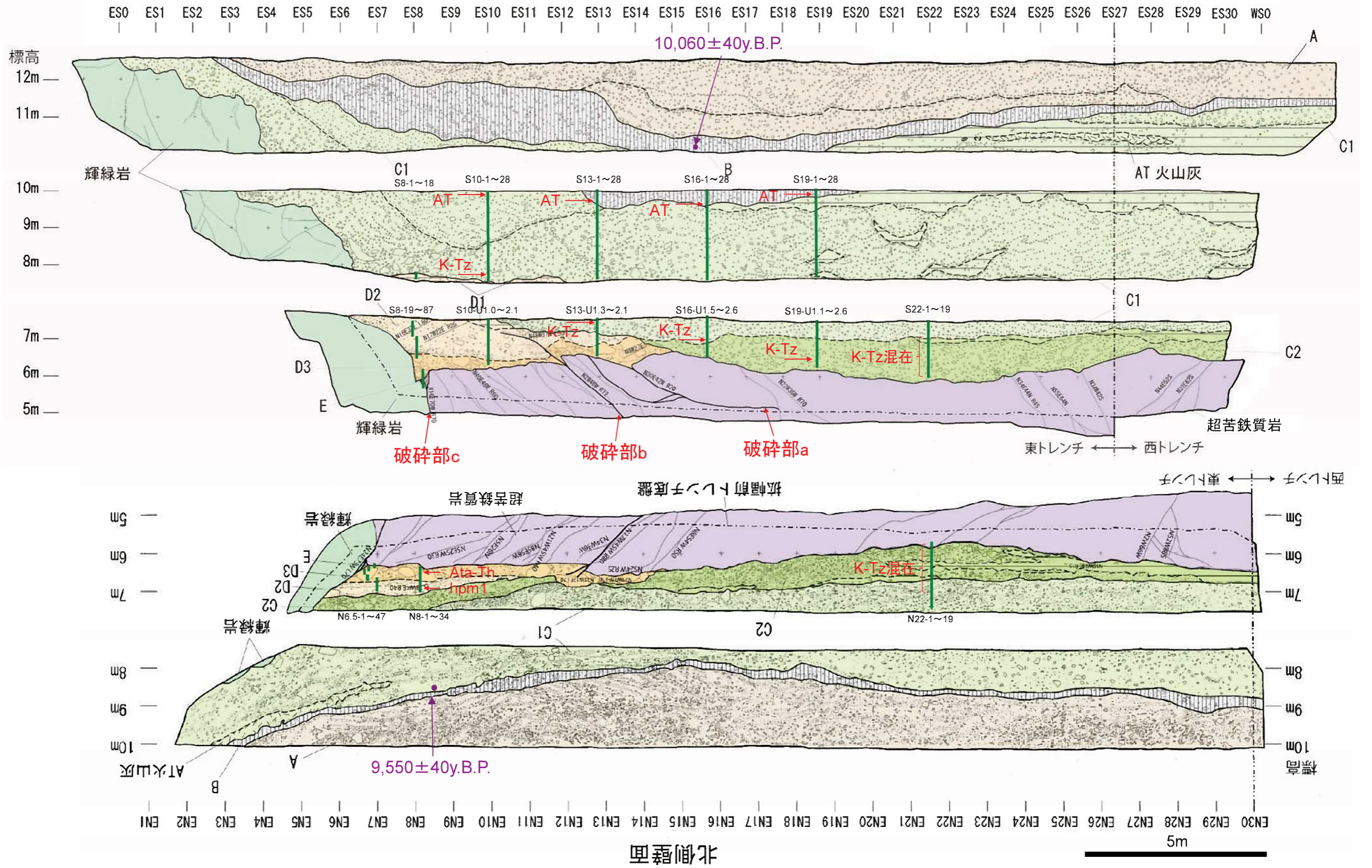
凡例	
	盛土
	沖積層
	崖錐堆積物
	新期扇状地堆積物
	段丘堆積物
	頁岩
	細粒石英閃緑岩
	輝緑岩
	斑れい岩
	珪長岩
	超苦鉄質岩
	塩基性凝灰岩
	地質境界線
	破碎帯

※地質平面図で人工改変地(r)としている部分は、実際に分布する地質で表現した。

※断面図作成位置は第1.2.3.3.1図に示す。

第1.2.3.3.2図 敷地の地質断面図

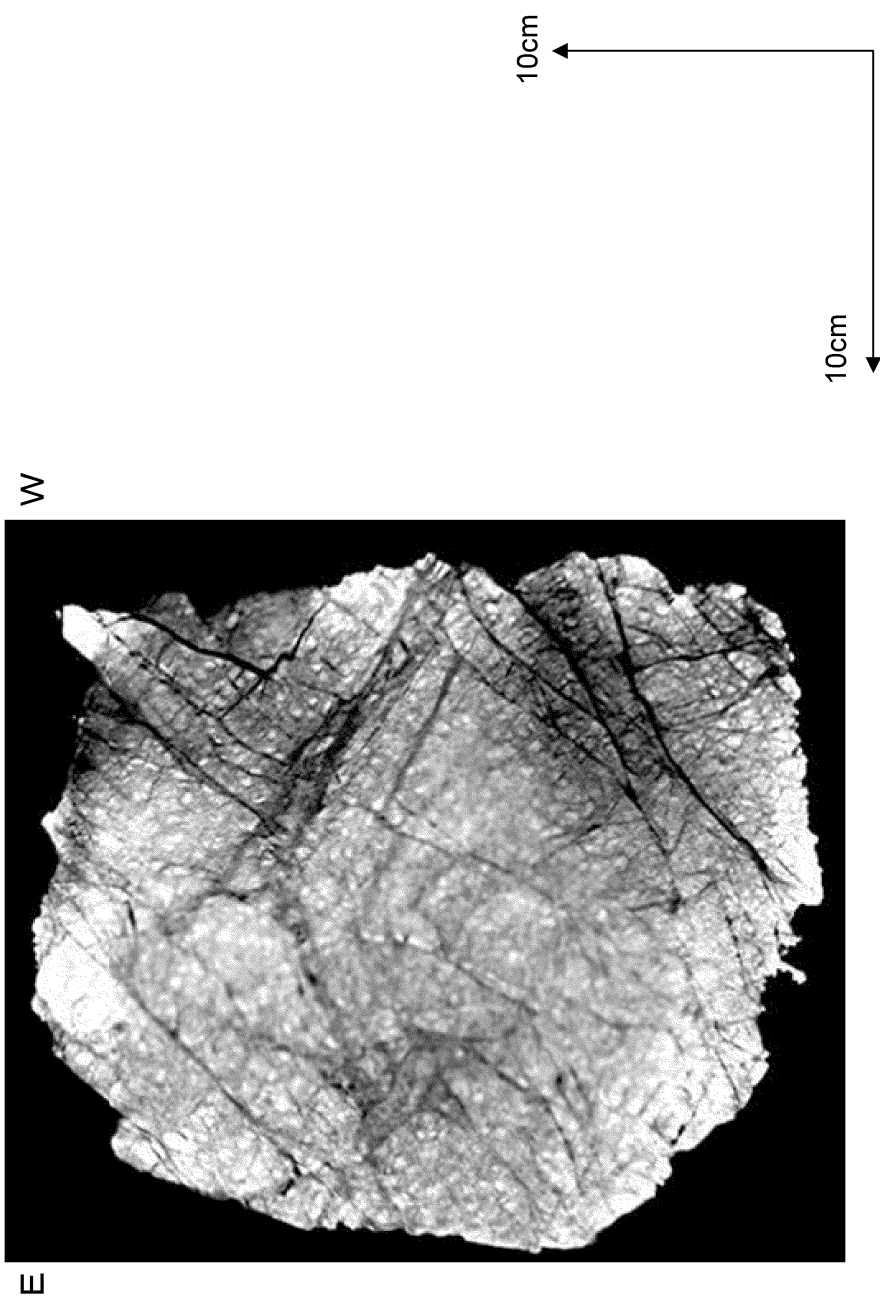
南側壁面



第1.2.3.3.3図 台場浜トレンチ壁面スケッチ (トレンチ東部)

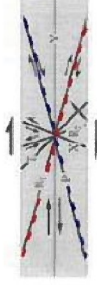






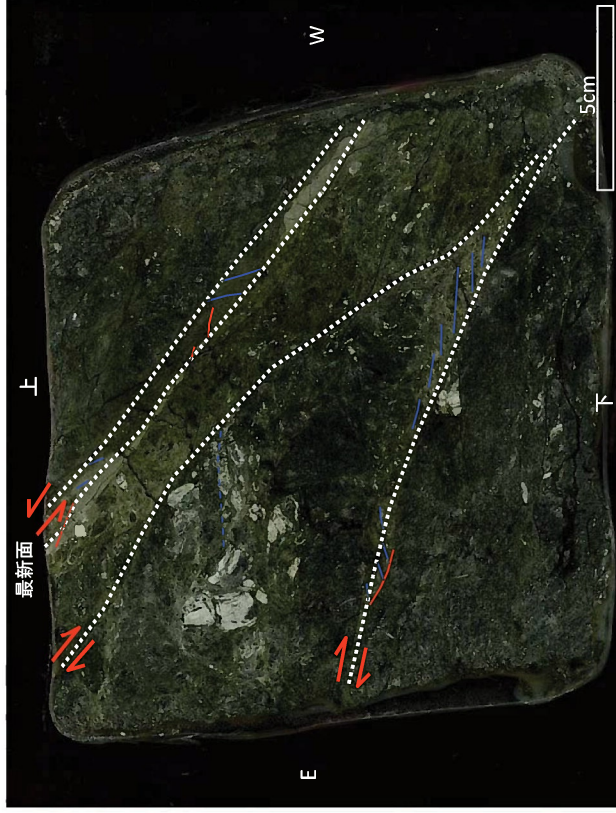
破碎部aの上盤のブロックサンプリングの結果は、全体として無構造の角礫状を呈し、明瞭な複合構造は認められない。

第1.2.3.3.5図 台場浜トレンチ破碎部a 付近CT画像解析結果



せん断センスを示す複合面構造  
(狩野・村田、1998)<sup>(20)</sup>

研磨片(縦ずれ成分観察用)

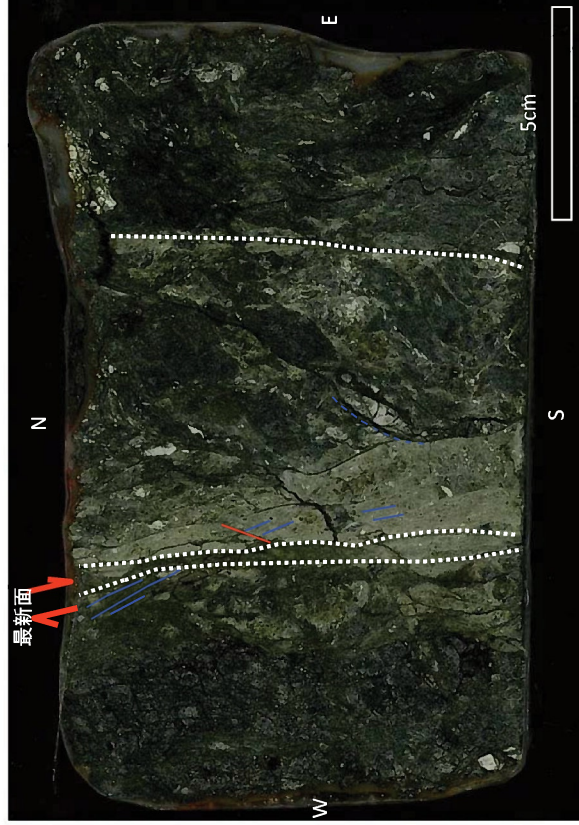


- ..... Y面
- R1面
- P面
- - - 引きずり構造

研磨片観察結果

- 主せん断面近傍の複合面構造により、逆断層成分を伴うと考えられる。
- せん断面周辺では正断層成分を示す引きずり構造が認められる。

研磨片(横ずれ成分観察用)



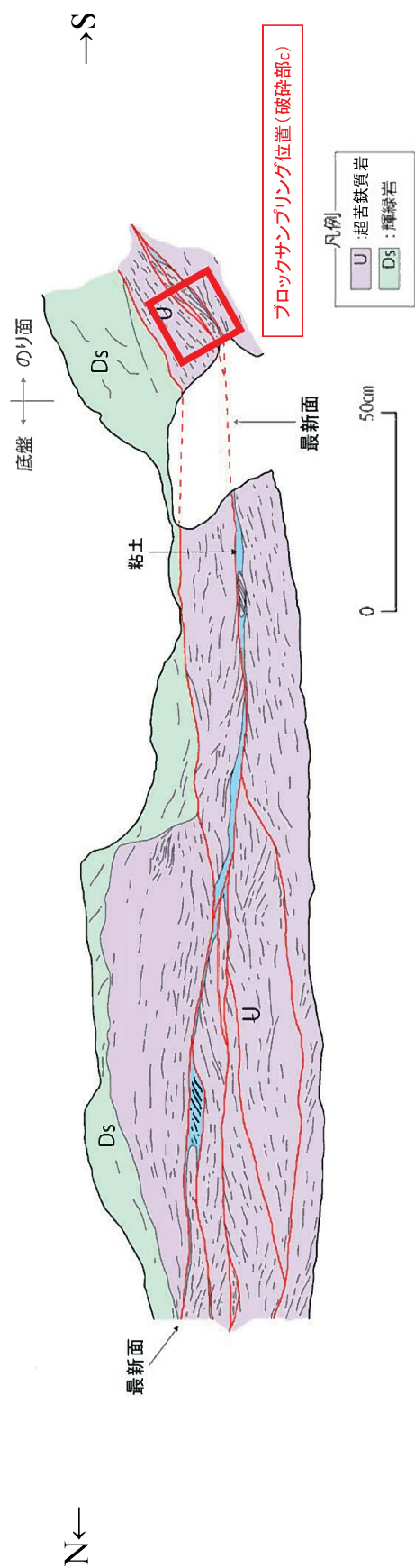
- ..... Y面
- R1面
- P面
- - - 引きずり構造

研磨片観察結果

- 主せん断面近傍で右横ずれ成分のR1面が認められる。
- せん断面周辺の引きずり構造により、左横ずれ成分を伴うと考えられる。



第1.2.3.3.7図 台場浜トレンチ東端付近写真



輝緑岩 超苦鉄質岩

破砕部c



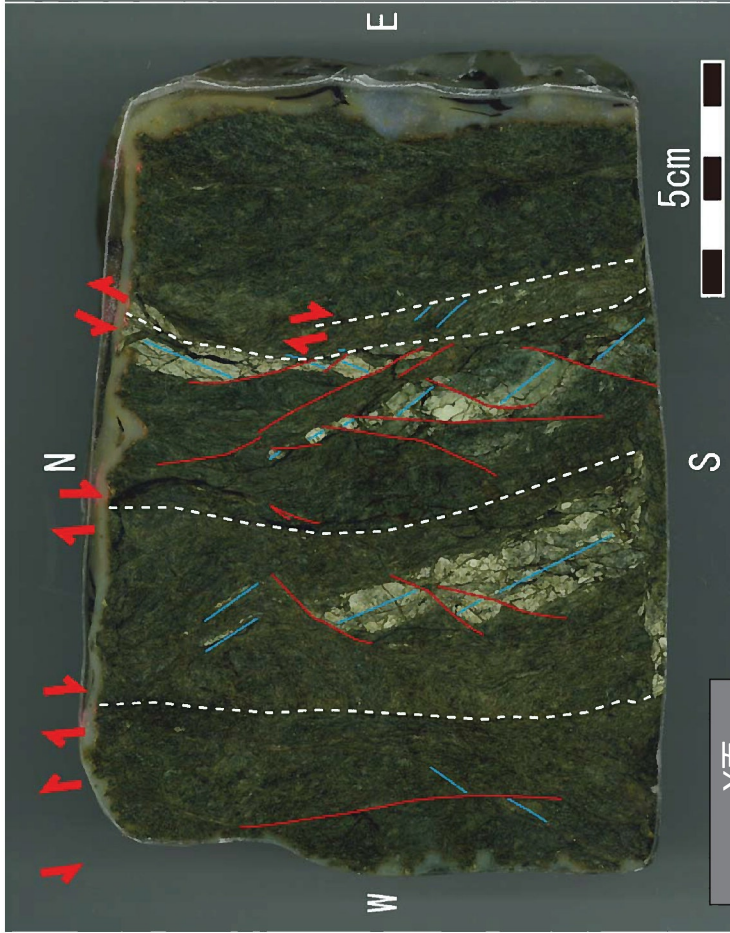
輝緑岩

超苦鉄質岩

輝緑岩と超苦鉄質岩の境界は凹凸を有し、その分布は一部を除き破砕部と一致しない。この地質境界付近の超苦鉄質岩中に湾曲した数条のすべり面(破砕部c)が認められる。

第1.2.3.3.8図 台場浜トレンチ東端付近底盤スケッチ

研磨片(横ずれ成分観察用)

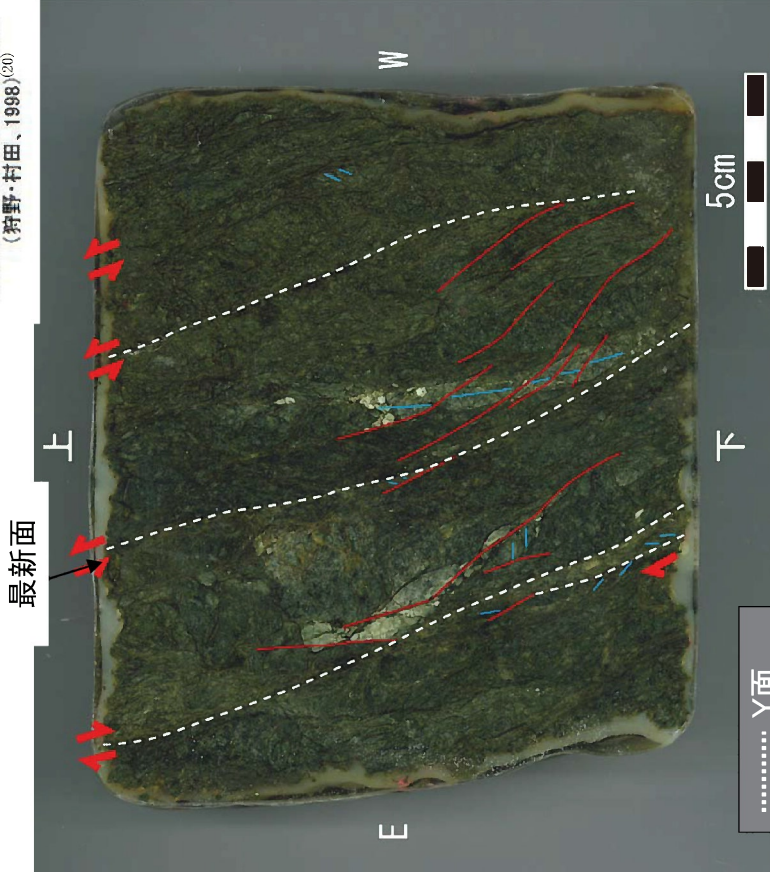


..... Y面  
 — R1面  
 — P面

研磨片観察結果

- ・黒緑色を呈し、角礫状に破碎された蛇紋岩化した超苦鉄質岩類か  
らなり、一部に破碎された白緑色脈を挟む。
- ・P面及びR1面がみられ、右横ずれセセンスを示す部分を主体とし、左横ずれセセンスを示す部分も認められる。縦ずれ成分観察用研磨片中の最新面に対応するY面(図中央)沿いには右横ずれセセンスを示すR1面が認められる。

研磨片(縦ずれ成分観察用)

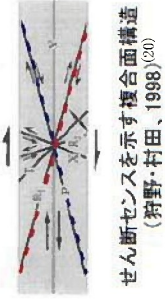


..... Y面  
 — R1面  
 — P面

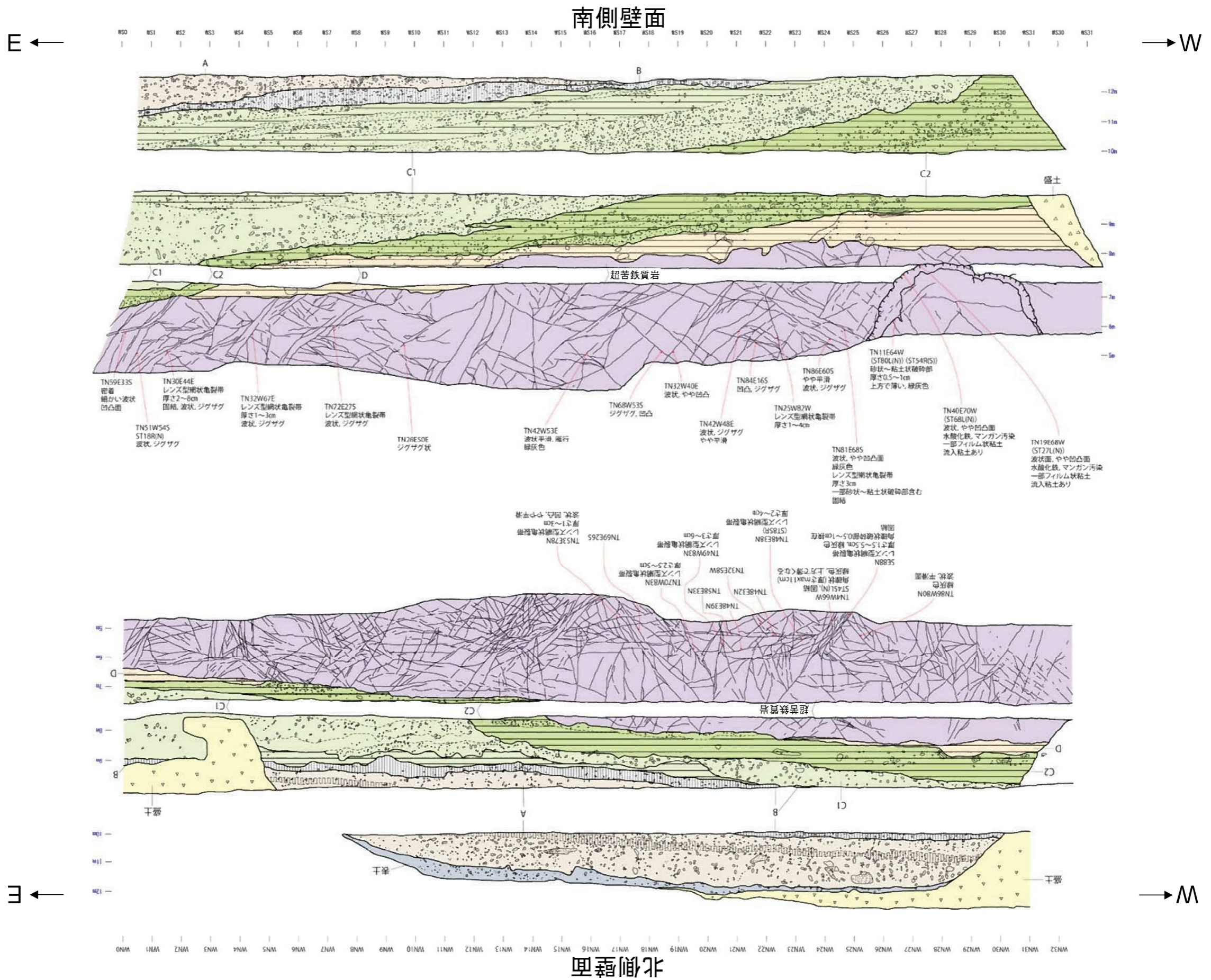
研磨片観察結果

- ・黒緑色を呈し、角礫状に破碎された蛇紋岩化した超苦鉄質岩類か  
らなり、一部に破碎された白緑色脈を挟む。
- ・P面及びR1面がみられ、逆断層セセンスを示す部分を主体とし、正断層セセンスを示す部分も認められる。最新面に沿っては逆断層セセンスが認められる。

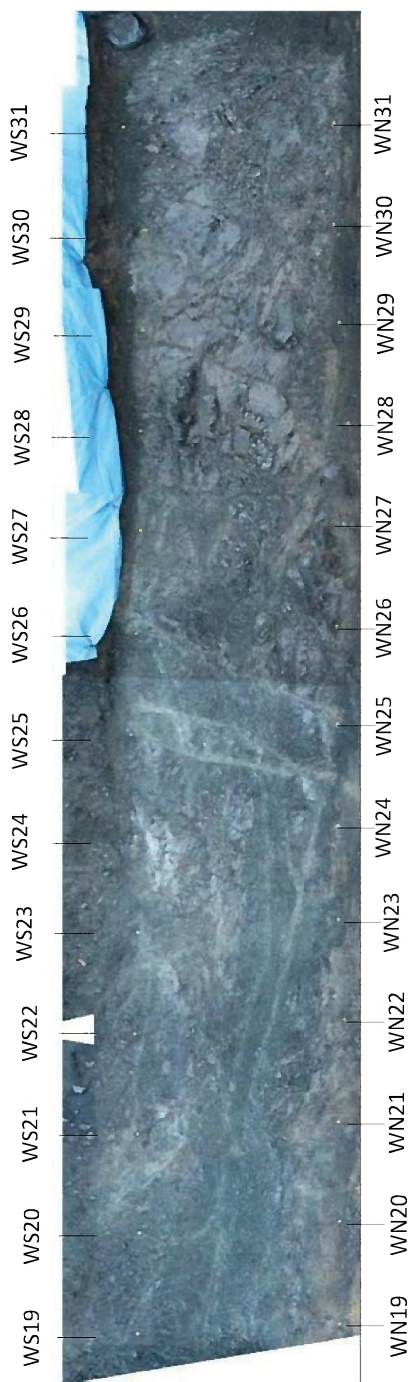
第1.2.3.3.9図 台場浜トレンチ破碎部c 研磨片観察結果



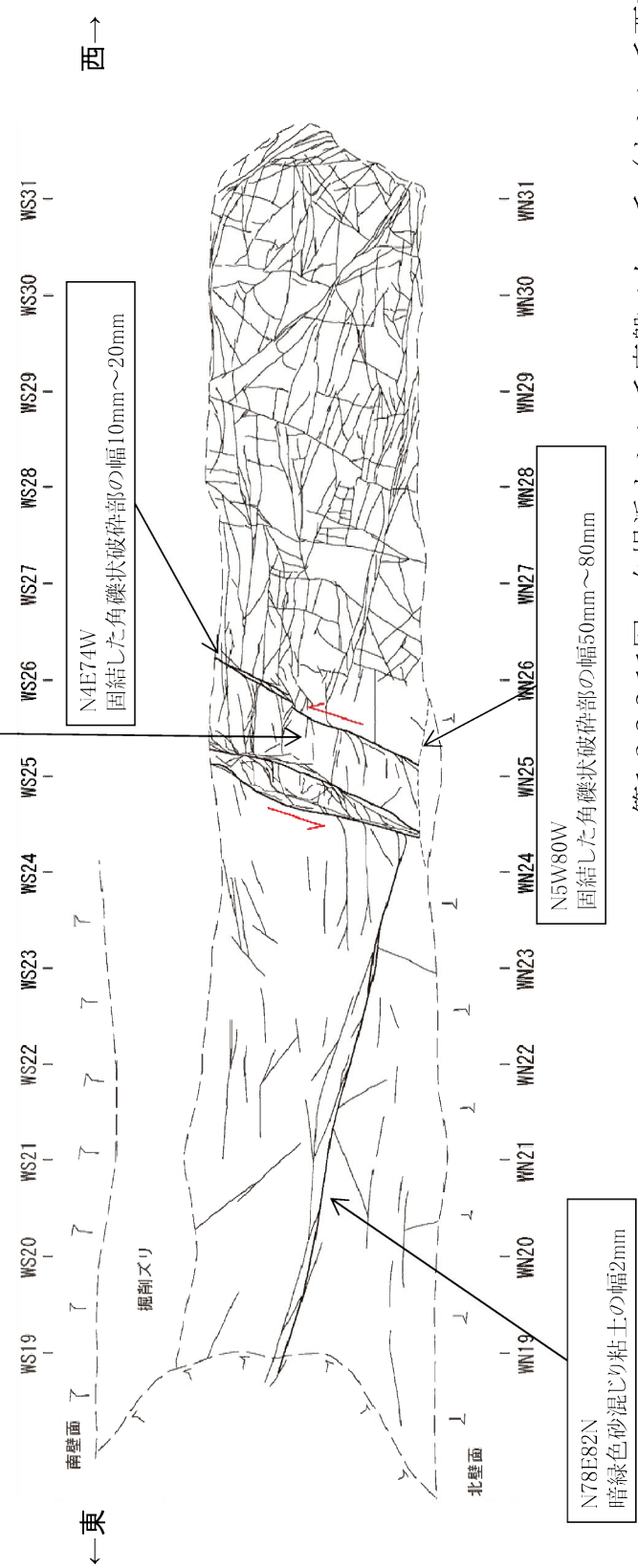
せん断セセンスを示す複合面構造  
 (狩野・村田、1998) (20)



第1.2.3.3.10図 台場浜トレンチ壁面スケッチ (トレンチ西部)

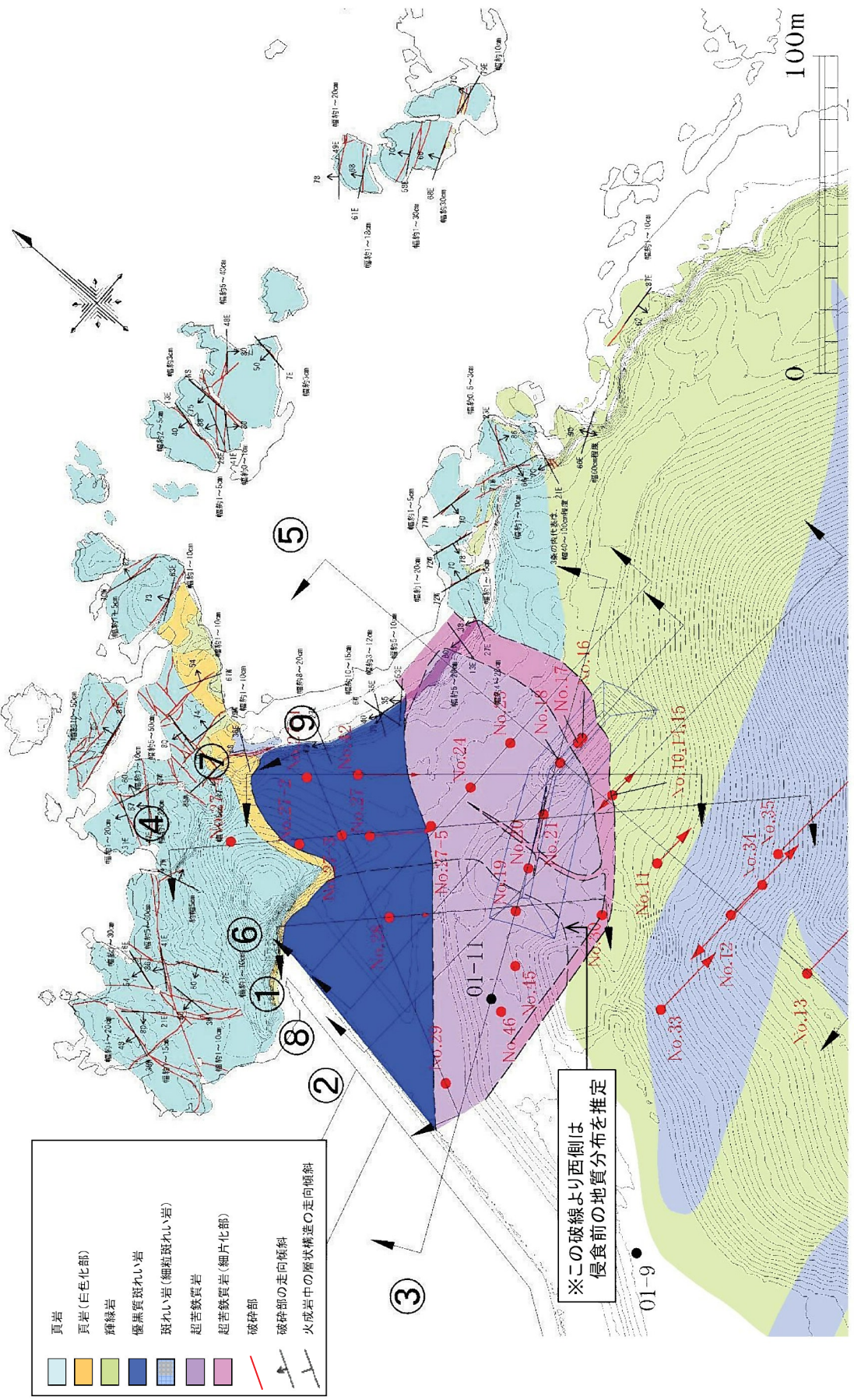


N5W80W  
2本のせん断面に採まれた部分は角礫状破砕部主体。  
左横ずれを示す構造を伴う。



第1.2.3.3.11図 台場浜トレンチ底盤スケッチ (トレンチ西部)

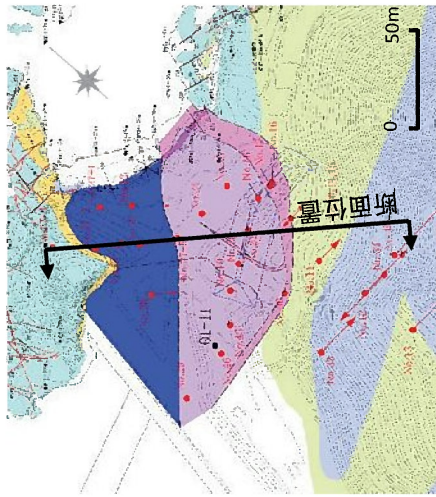




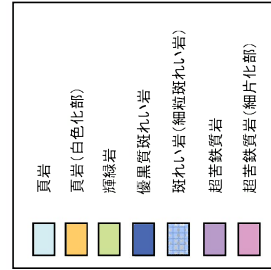
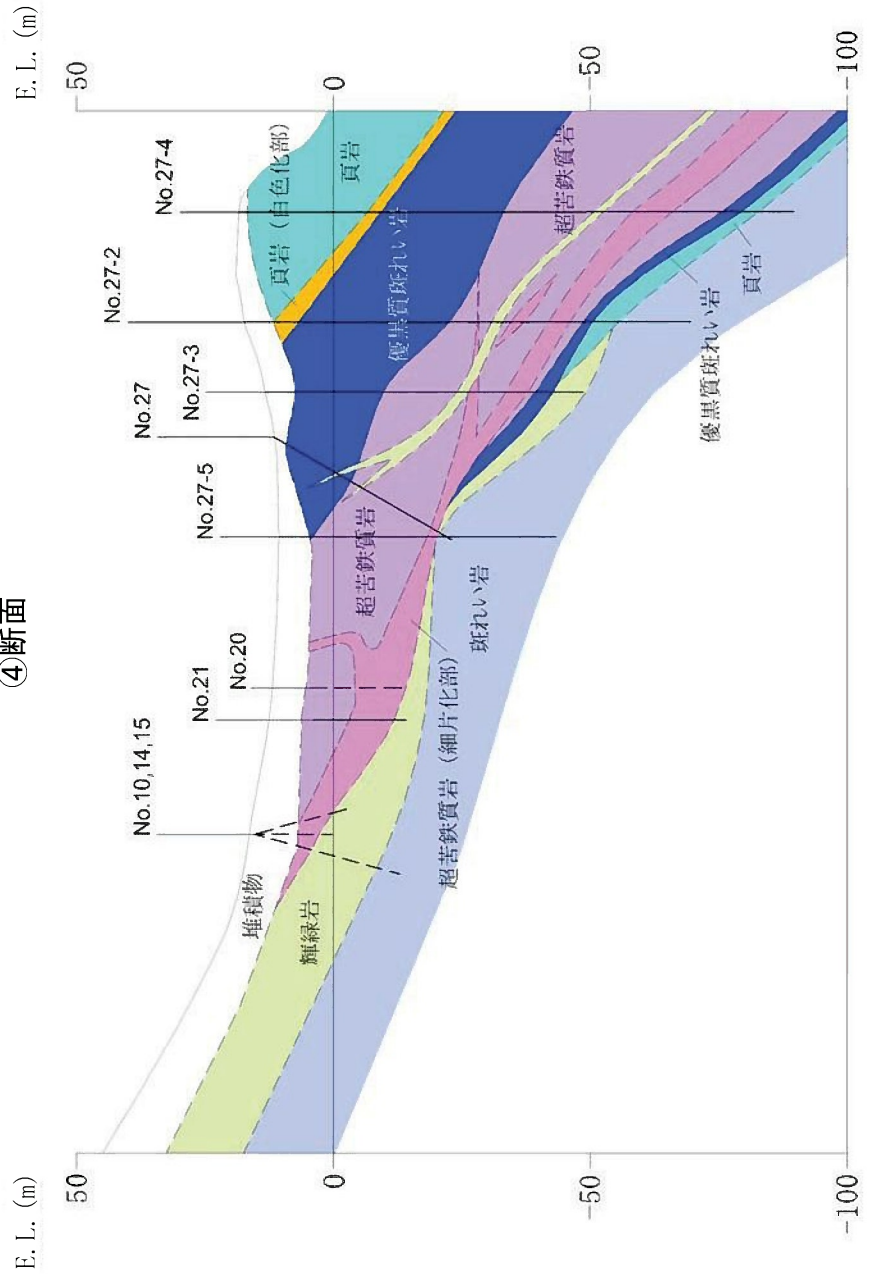
- 頁岩
- 頁岩(白色化部)
- 輝緑岩
- 優黒質斑れい岩
- 斑れい岩(細粒斑れい岩)
- 超苦鉄質岩
- 超苦鉄質岩(細片化部)
- 破碎部
- 破碎部の走向傾斜
- 火成岩中の層状構造の走向傾斜

※この破線より西側は  
侵食前の地質分布を推定

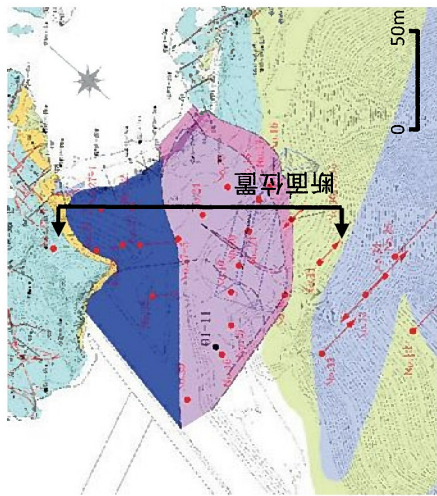
第1.2.3.3.12図 台場浜付近 地質分布図



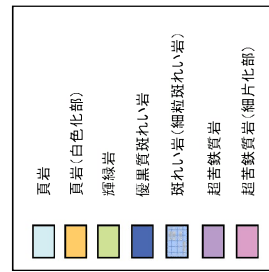
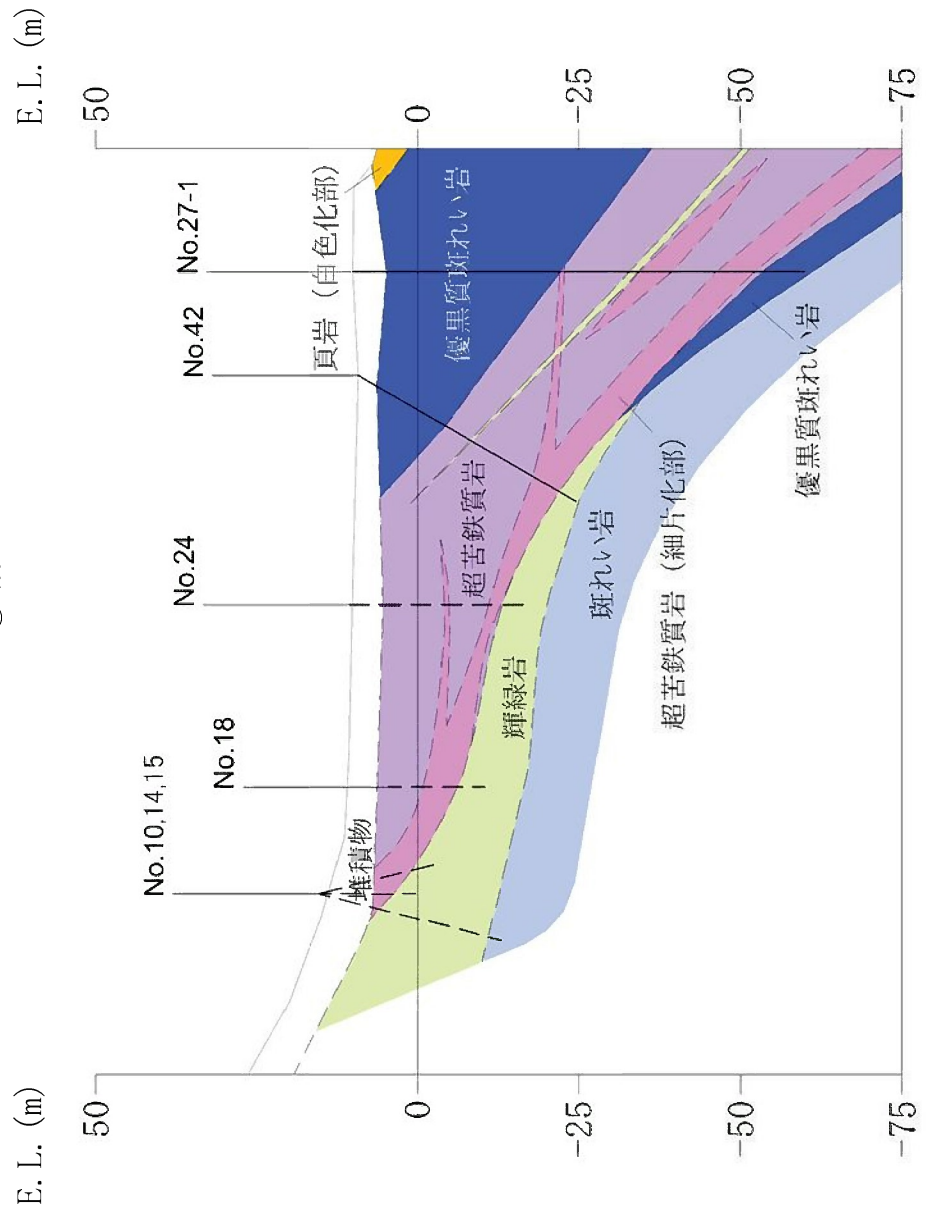
④断面



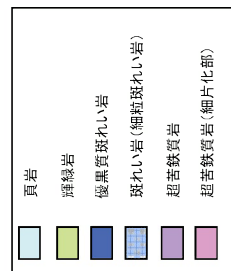
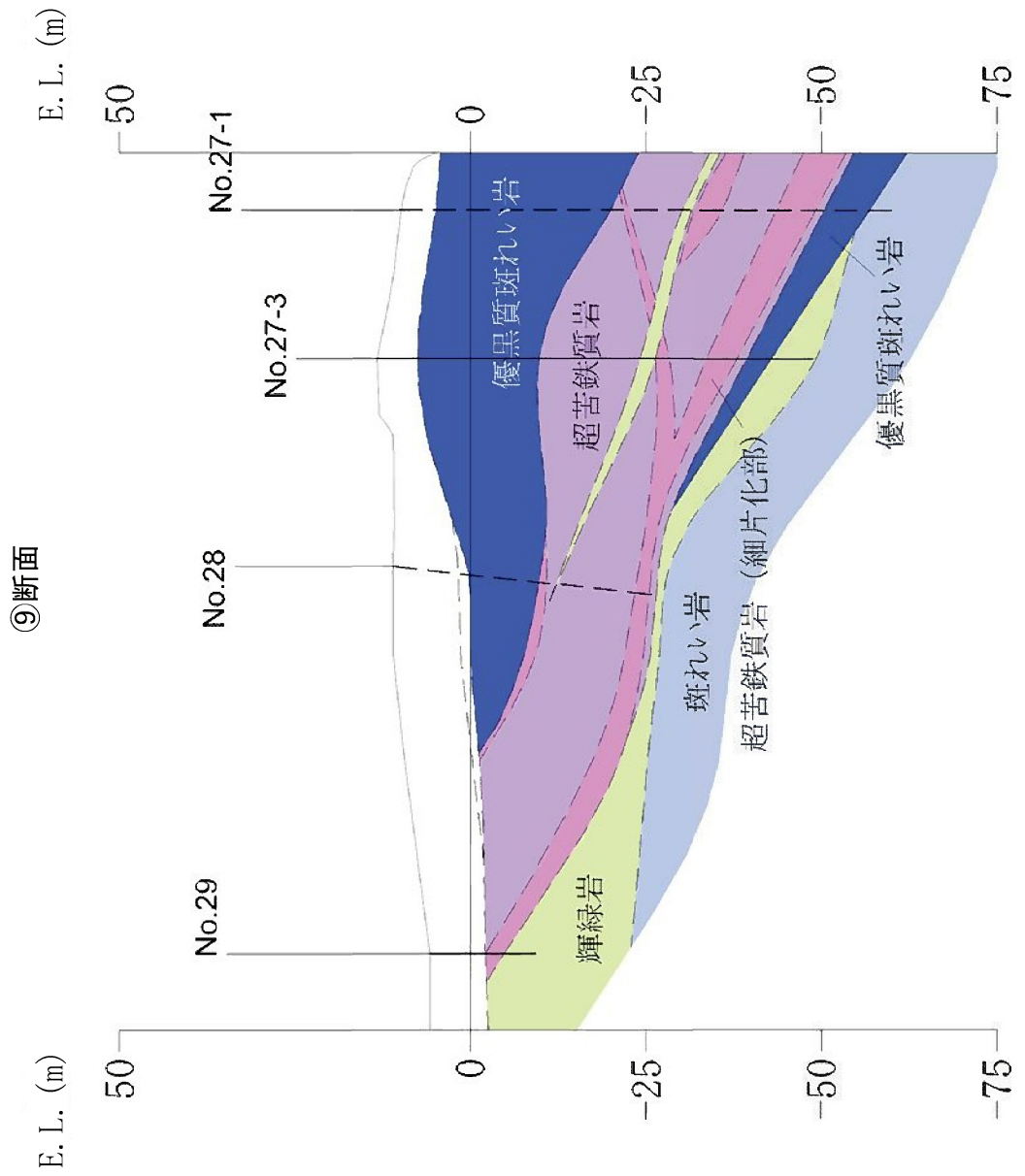
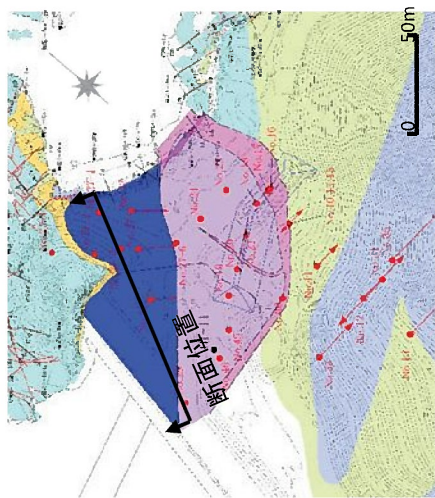
第1.2.3.3.13図(1) 台場浜付近 地質断面図 (④断面)



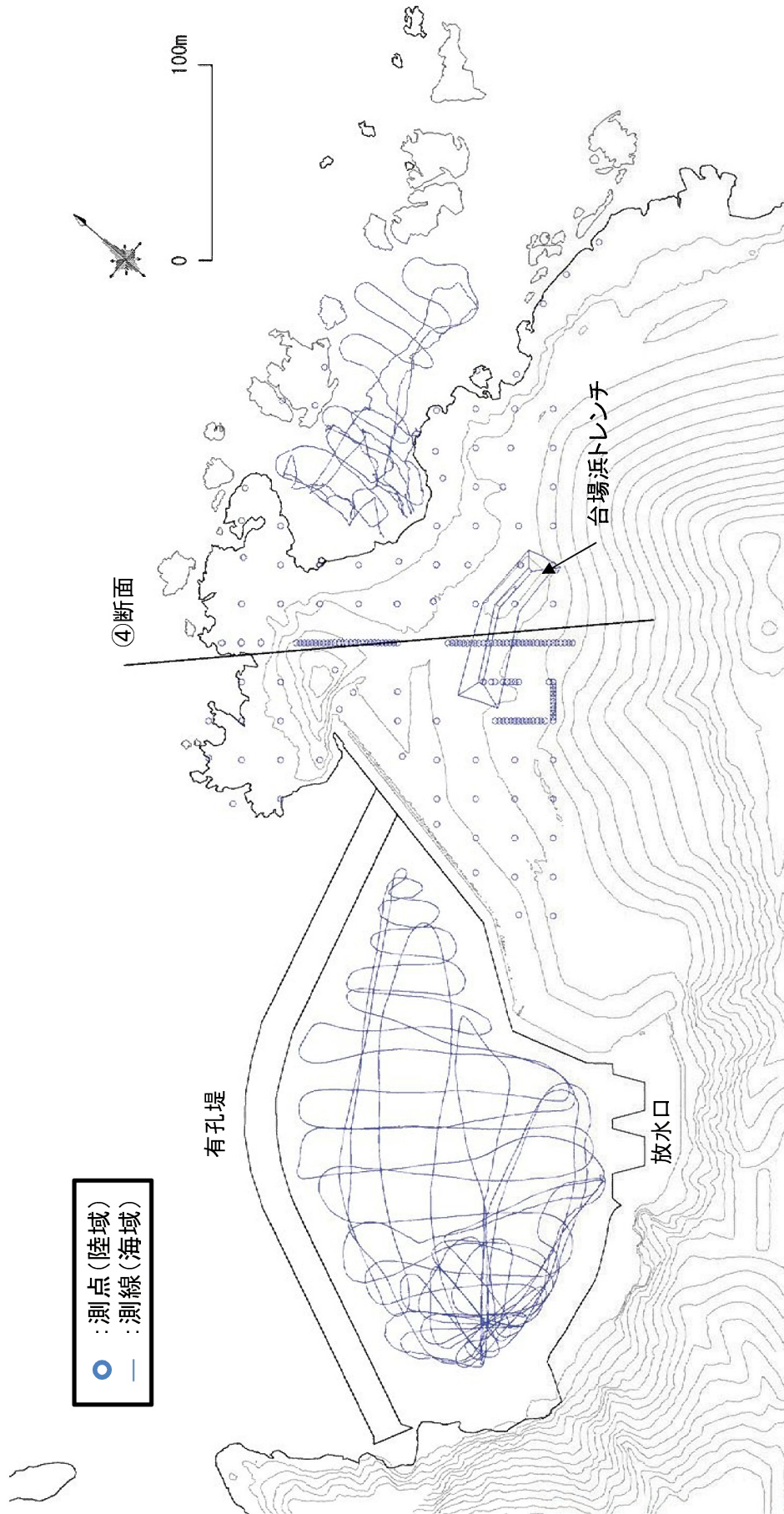
⑦断面

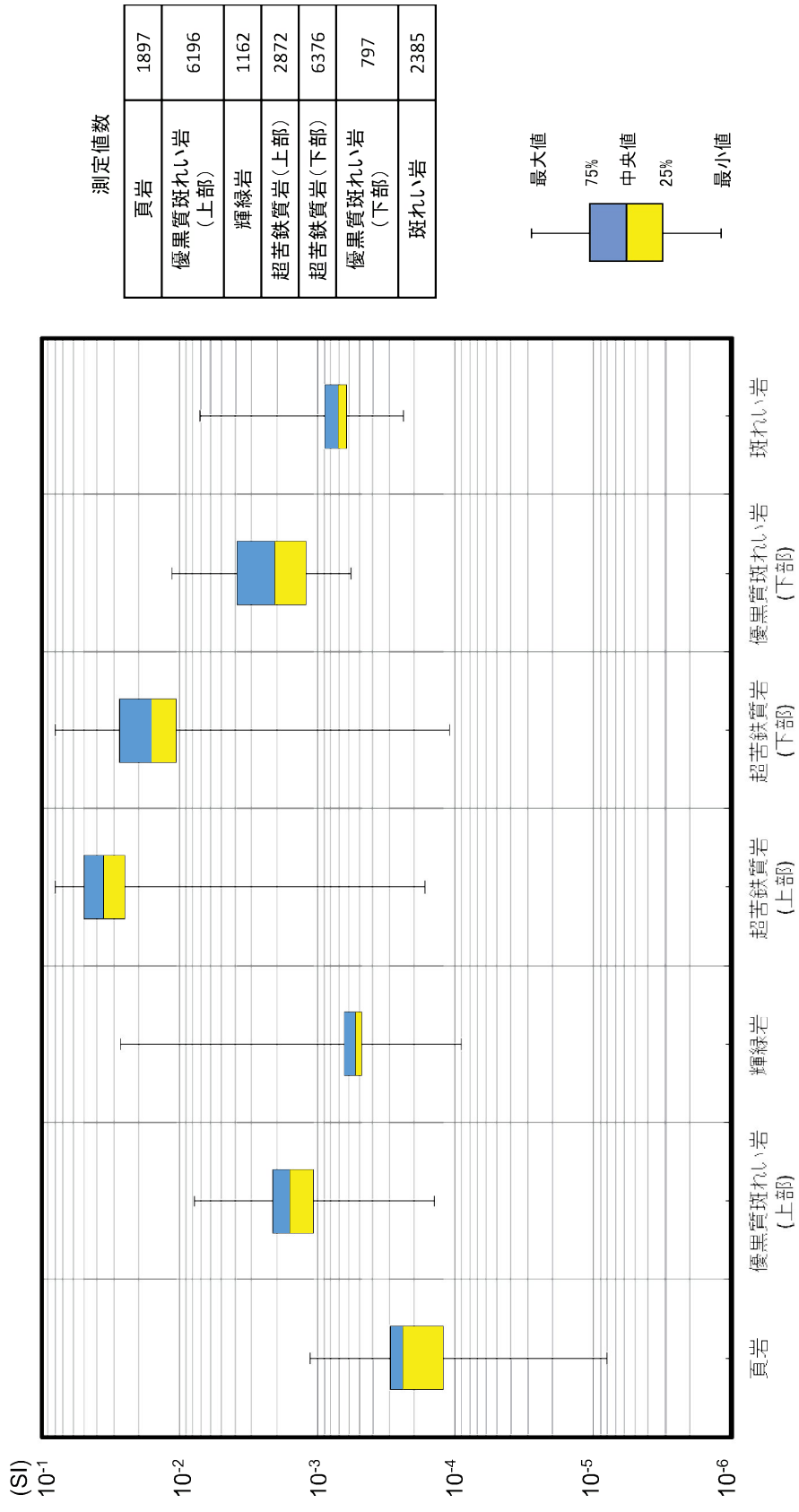


第1.2.3.3.13図(2) 台場浜付近 地質断面図 (⑦断面)



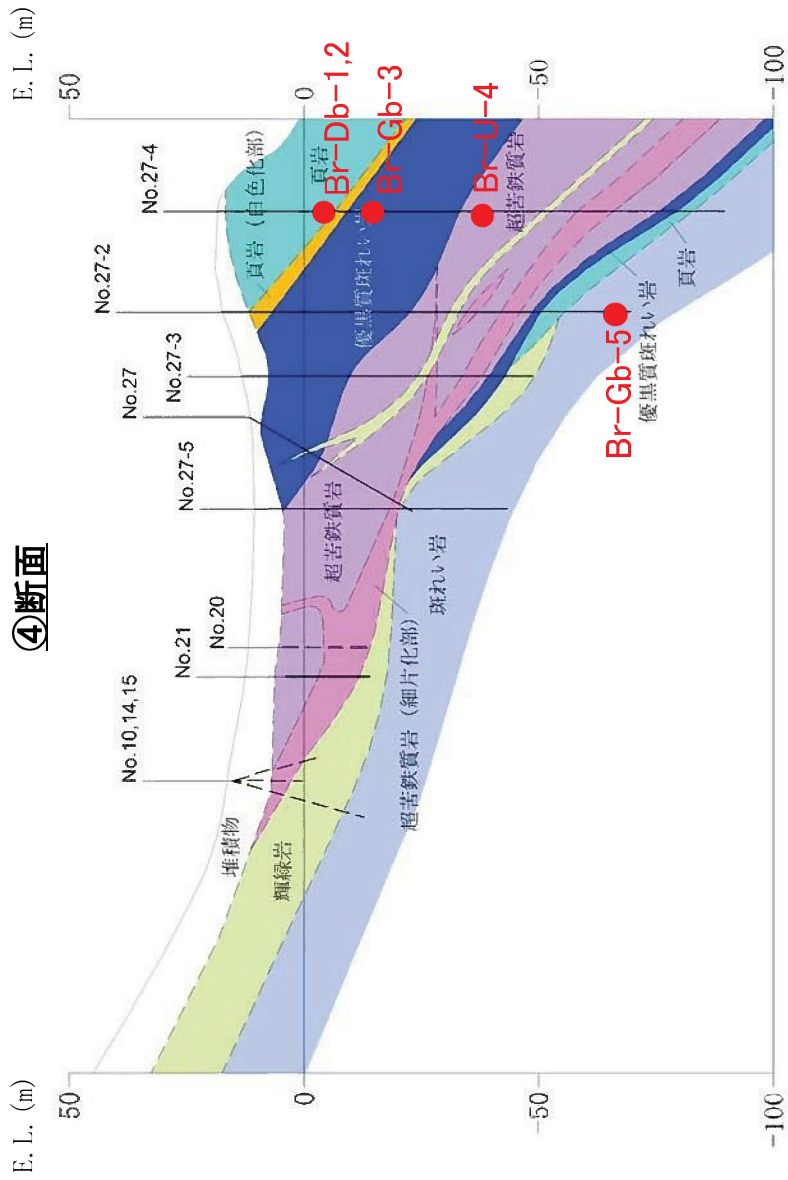
第1.2.3.3.13図(3) 台場浜付近 地質断面図 (⑨断面)





- 台場浜周辺のボーリングのうち、No. 27-1、No. 27-2、No. 27-3、No. 27-4、No. 27-5、No. 27、No. 42孔の帯磁率を用いて、地質ごとに帯磁率を取りまとめた。
- 超苦鉄質岩は、挟在する輝緑岩より上部を「超苦鉄質岩 (上部)」、下部を「超苦鉄質岩 (下部)」と区分した。
- 優黒質斑れい岩は、超苦鉄質岩の上位を「優黒質斑れい岩 (上部)」、下位を「優黒質斑れい岩 (下部)」とした。

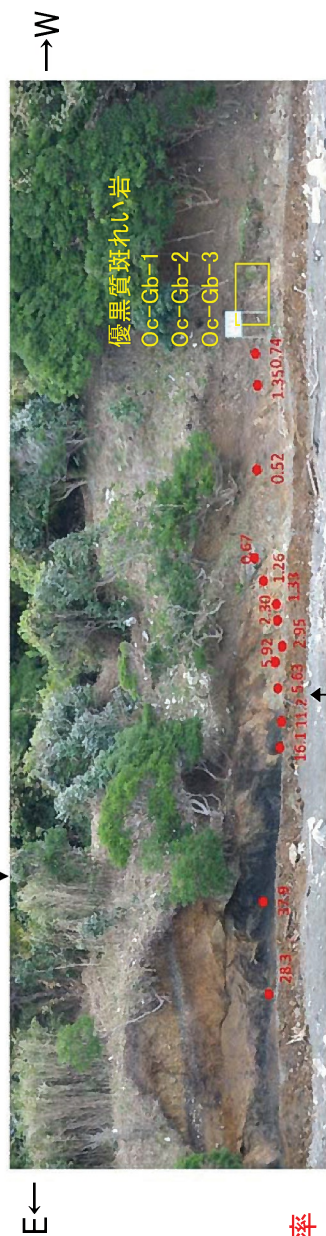
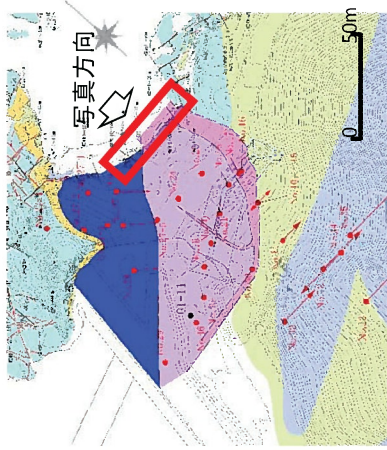
第1.2.3.3.15図 台場浜付近 帯磁率測定結果



試料番号	ボーリング孔	深度 (m)	岩種	帯磁率 ( $\times 10^{-5}$ (SI))	伏角 ( $^{\circ}$ )	残留磁気強度 ( $\times 10^{-3}$ (A/m))	Q値	残留磁気 の方向
Br-Db-1	No. 27-4	28.7	輝緑岩	57	9.8	1.9	0.11	正帯磁
Br-Db-2	No. 27-4	24.4	輝緑岩	60	10.9	3.3	0.18	正帯磁
Br-Gb-3	No. 27-4	29.1	優黒質斑れい岩	161	-14.6	9.2	0.19	逆帯磁
Br-U-4	No. 27-4	54.7	超苦鉄質岩	6307	-13.3	4465.7	2.29	逆帯磁
Br-Gb-5	No. 27-2	81.6	細粒斑れい岩	114	25.9	5.3	0.16	正帯磁

ボーリングコア試料のため方位復元が困難であり、偏角は測定不可

第1.2.3.3.16図(1) 台場浜付近 残留磁気測定結果(1)



● 帯磁率  
( $\times 10^{-3}(\text{SI})$ )

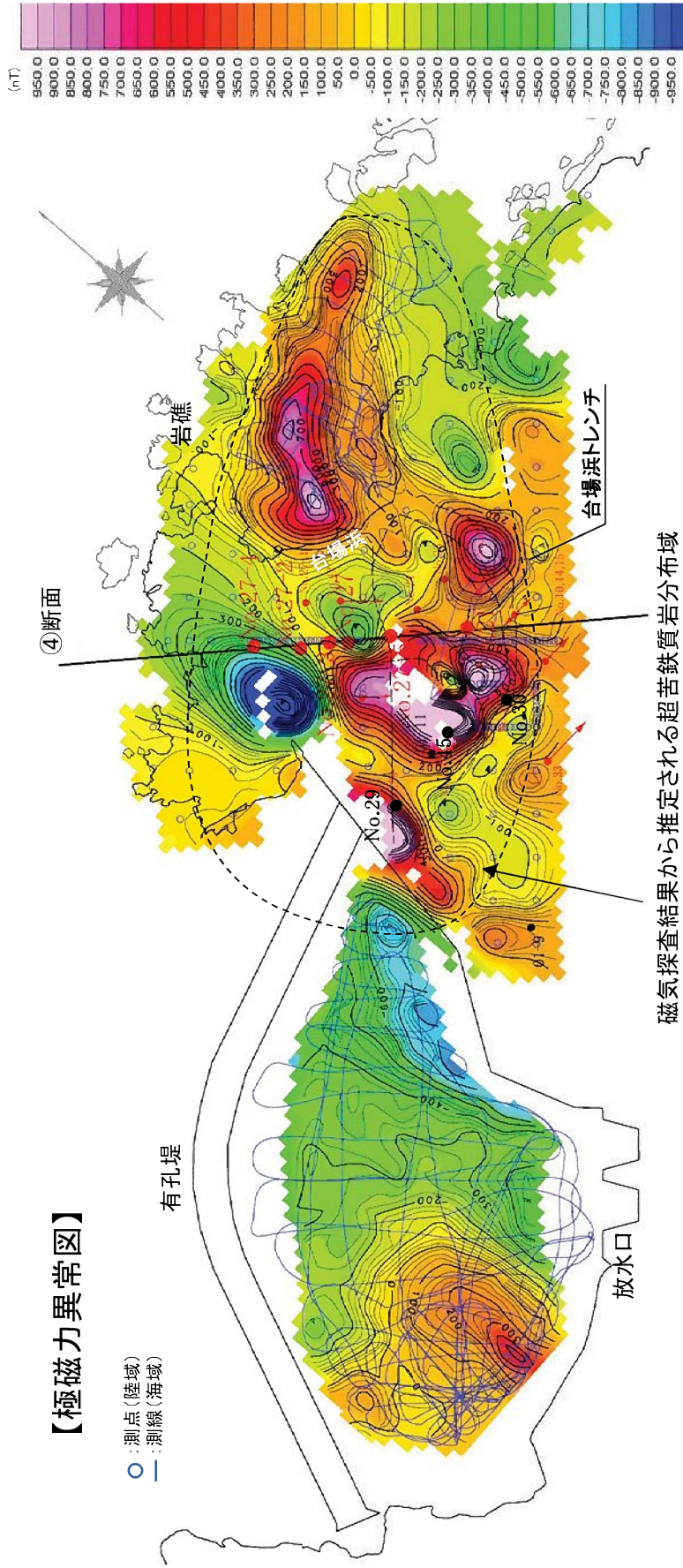
超苦鉄質岩/優黒質斑れい岩境界

試料番号	岩種	帯磁率 ( $\times 10^{-5}(\text{SI})$ )	偏角 ( $^{\circ}$ )	伏角 ( $^{\circ}$ )	残留磁気強度 ( $\times 10^{-3}(\text{A/m})$ )	Q値	残留磁気 の方向
0c-Gb-1	優黒質斑れい岩	116	-0.88	56.42	6.5	0.15	正帯磁
0c-Gb-2	優黒質斑れい岩	114	7.49	54.34	7.3	0.17	正帯磁
0c-Gb-3	優黒質斑れい岩	97	42.29	28.35	5.1	0.14	正帯磁
0c-U-4	超苦鉄質岩	2083	13.99	43.19	424.7	0.53	正帯磁
0c-U-5	超苦鉄質岩	864	0.17	64.80	177.7	0.54	正帯磁
0c-U-6	超苦鉄質岩	943	-1.05	63.62	195.2	0.53	正帯磁
0c-U-7	超苦鉄質岩	1201	-17.94	61.25	238.2	0.52	正帯磁

第1.2.3.3.16図(2) 台場浜付近 残留磁気測定結果(2)



### 【極磁力異常図】



磁気探査結果から推定される超苦鉄質岩分布域

- 台場浜トレンチ付近及び台場浜前面の入り江において強い正の磁気異常分布域が認められる。また、ボーリングNo. 27-2、27-3孔付近に強い負の磁気異常分布域が認められる。
- 台場浜北東側の岩礁付近は磁気異常が小さい。また、放水口前面では磁気異常が小さい。
- 強い磁気異常源は帯磁率及び残留磁気の大きな超苦鉄質岩と考えられる。
- 台場浜海岸で採取した超苦鉄質岩の残留磁気は正帯磁であり、台場浜に面した海域の正の磁気異常分布と調和的である。
- No. 27-4孔の深度55m付近で計測した超苦鉄質岩の残留磁気は逆帯磁であり、No. 27-2、27-3孔付近の負の磁気異常分布と調和的である。
- 台場浜トレンチ、No. 29、30、45孔等では、地表付近で超苦鉄質岩を確認しており、これらの分布は正の磁気異常分布と調和的である。この付近の超苦鉄質岩は正帯磁である可能性が高い。

第1.2.3.3.17図 台場浜付近 磁気探査結果 (極磁力異常図)